

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 1	a		13806	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	必修	1				

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア400点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須英単語と読解力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出の場面設定や文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作と状態／表・用紙
- Unit 02 疑問詞を使った疑問文／広告
- Unit 03 日常場面での会話／品詞
- Unit 04 アナウンス・ツアー／動詞
- Unit 05 物の状態と位置／チャット
- Unit 06 基本構文と応答の決まり文句／手紙・Eメール
- Unit 07 電話での会話／代名詞・関係代名詞
- Unit 08 ラジオ放送・宣伝／接続詞・前置詞
- Unit 09 Yes/NO疑問文／ダブルパッセージ(2つの文書)
- Unit 10 オフィスでの会話 1／Part 5の復習
- Unit 11 留守番電話／トリプルパッセージ(3つの文書)
- Unit 12 オフィスでの会話 2／Part 7の復習
- Unit 13 Part 1とPart 2の復習／時制・代名詞・語彙問題
- Unit 14 トーク・スピーチ・会議の一部／つなぎ言葉・文の挿入
- 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 銀のフレーズ（朝日新聞出版）、Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

ダウンロード音声を用いて確実に復習すること。毎回、英和辞書を必ず持参すること。

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 1	b		13806	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	必修	1	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア400点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須英単語と読解力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出の場面設定や文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- Unit 01 人物の動作と状態／表・用紙
- Unit 02 疑問詞を使った疑問文／広告、単語テスト1
- Unit 03 日常場面での会話／品詞、単語テスト2
- Unit 04 アナウンス・ツアー／動詞、単語テスト3
- 進捗調整、単語テスト4
- Unit 05 物の状態と位置／チャット、単語テスト5
- Unit 06 基本構文と応答の決まり文句／手紙・Eメール、単語テスト6
- Unit 07 電話での会話／代名詞・関係代名詞、単語テスト7
- Unit 08 ラジオ放送・宣伝／接続詞・前置詞、単語テスト8
- 進捗調整、単語テスト9
- Unit 09 Yes/No疑問文／ダブルパッセージ(2つの文書)、単語テスト10
- Unit 10 オフィスでの会話 1／Part 5の復習、単語テスト11
- Unit 11 留守番電話／トリプルパッセージ(3つの文書)、単語テスト12
- Unit 12 オフィスでの会話 2／Part 7の復習、単語テスト13
- 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One（桐原書店）、TOEIC L&R TEST出る単特急 銀のフレーズ（朝日新聞出版）、Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

ダウンロード音声を用いて確実に復習すること。毎回、英和辞書（紙版、電子辞書）を必ず持参すること。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
外国語教授法			13745	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	選択	2	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士			

授業の到達目標

本講義では、グローバル化に対応した英語教育改革のゴールを考え、小学校から中学校・高校への英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の連携が図れる「外国語教授法」のあり方を考える。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

日本では、英語学習に相当な時間と労力を費やしている。英語がペラペラに使える人は多くはないが、日本語がペラペラに使えない日本人はいない。外国語教育を成功させるための秘訣とは何か？ 本授業では、小学校英語教科化を見据えた外国語教育のあり方そのものを考える。外国語教授法の理論と指導法の実践を学習し、指導者側における効果的な外国語教授法、そして、学習者側においては効果的な外国語学習法の理論と実践状況を学ぶ。

授業計画

- 1 小学校英語教育
- 2 言語習得理論
- 3 教授法の理論的背景(1)
- 4 教授法の理論的背景(2)
- 5 発表(1) All in Englishでの授業
- 6 教授法の理論的背景(3)
- 7 教授法の理論的背景(4)
- 8 4技能(1)
- 9 4技能(2)
- 10 発表(2) リスニングとスピーキングの授業
- 11 4技能(3)
- 12 4技能(4)
- 13 発表(3) リーディングとライティング
- 14 評価
- 15 これからの小学校英語 中学・高校との連携

授業の方法

教授法の理論と実際の授業での応用から、理論と実践の融合を体験する

準備学修

項目・内容について下調べをしておくこと。テキストの該当章を読んでおくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

授業時に、講義内容に関するレポートを提出。プレゼンテーションあり。ともに評価の対象とするので、公欠などの連絡を必ずすること。

テキスト

小学校英語の教育法 ー理論と実践 アレン玉井光江 大修館書店

参考図書

現代英語教授法総覧 田崎清忠編集責任者 大修館書店

留意事項

参考図書、参考文献をあらかじめ読んでおくこと

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（中高）			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学校教頭 小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を理解する。教員の資質能力と職務内容について理解し、身につけることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

未来を語るキーワードとして「Society5.0・AI・IoT・ICT・SDGs」が語られ、また学習指導要領、生徒指導要領が改訂され、教育を取り巻く今日的課題が、大きく変わってきている。このような状況の中、教育の課題を整理しながら、教員の資質や能力の向上、研修方法について学び、さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の学校教育の在り方や、「教職」の意義、教員の役割を考察していく。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日的課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探究)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情報積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。